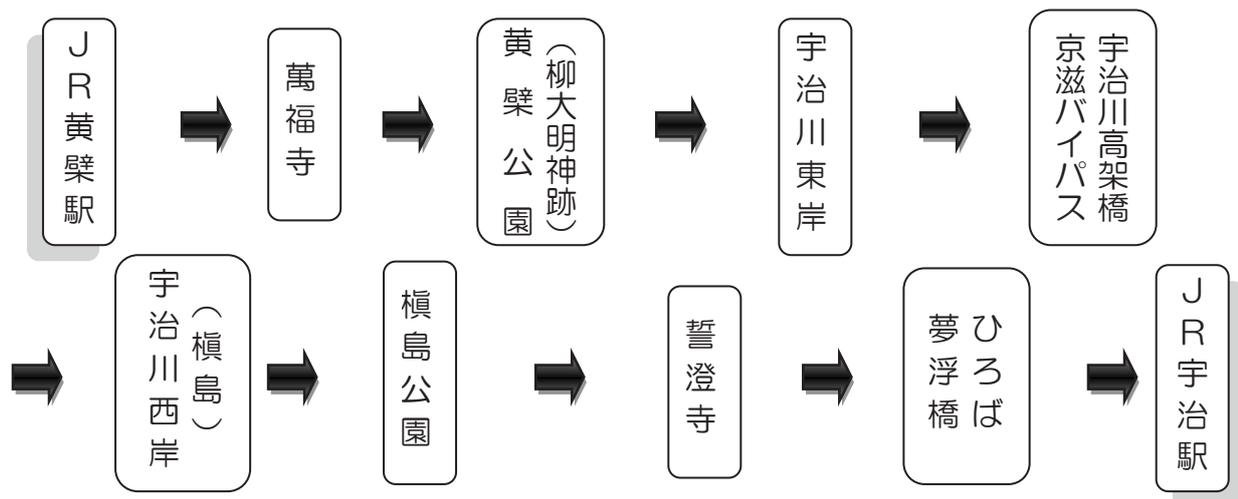


No.7 宇治川岸辺ウォーク

室町幕府終焉の地をめぐる

おすすめポイント

歴史のいきづくまち宇治の中世から近世への流れの過程での合戦で、織田信長軍に包囲された槇島城、その落城とともに室町幕府最後の将軍足利義昭で終焉した足跡をたどります。信長軍が敷いた陣地といわれる高台にある黄檗公園一帯からの遠望は合戦当時が偲ばれます。そして、途中の橋上から、山なみ、町なみ、田園風景など宇治川を挟んでの変化のある遠望の自然的景観も同時に楽しめるコースです。



ここに注目



● 槇島城跡石碑

足利義昭にとって、信長に敗れ、室町幕府終焉の地となったところである。『山城南勝志』に「今、城旧跡、茶園と為る、方二町ばかり、一段高地也」と記されその遺跡は明瞭ではないが、かつては宇治川が巨椋池にそそぎ込む風光明媚なところであった。



● 高台より槇島の遠望

1573(元龜4)年7月17日このあたりの小高い山に登り、信長は眼下に横たわる宇治川とその中州にある槇島城をするどい眼差しで見つめていたのであろうか。翌18日七万余騎と伝えられる軍勢で城に総攻撃をかけるのである。

